

公益目的事業

共通：熊本市現代美術館の管理運営業務 【平成30年度実績一覧】

平成30年度全館入場者数：202,989人

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり）

内 容				
美術館運営 (研修)	美術館マネジメント	来館者案内・サービス・館内警備、入場者・入場料管理・分析等		
		朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有		
	7月4-6日	第40回文化財の虫菌害・保存対策研修会	文化財虫菌害研究所	佐々木・岡田
	8月29日	有期労働契約と同一労働同一賃金セミナー	公益財団法人 公益法人協会	杉谷
	10月13日	指定管理者制度による公立博物館の運営～財団法人指定管理館の現状と課題	法政大学資格過程	杉谷・坂本
	11月24日	日本文化政策学会 第12回年次研究大会	日本文化政策学会	松本・岩崎み・池澤
	11月30日	熊本県図工美術研究大会	熊本県図工美術研究会	坂本
	2月25日	著作権研修会	九州産業大学（館内研修）	岩崎み・池澤・市下
	3月12日	第2回美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ「観光と使命（ミッション）」	熊本県立美術館・一般財団法人地域創造	岩崎ち・松本
	3月25日	会場内監視員研修会	館内研修	監視員
美術館運営 (外部審議会等)	8月3日	原幸代子 (県文化協会専務理事)	【テーマ】美術館のパートナー 美術館の今後のパートナーや広報展開について協議・検討	
	9月2日	村田眞宏 (豊田市美術館館長)	【テーマ】市民とともにある未来の熊本市現代美術館 熊本と繋がりのある事業、美術館が人をつくっていくことの協議・検討	
	10月13日 12月3日	日比野克彦 (岐阜県美術館館長)	【テーマ】これまでの美術館運営の仕方を越えるために、美術館スタッフが挑戦していくこと 展覧会事業、ターゲットの明確化について協議・検討	
	11月25日	佐々木亨 (北海道大学教授)	博物館の評価システムについてのヒアリング	
	1月11日	山出淳也 (BEPPEU PROJECT代表)	【テーマ】CAMKらしい評価システムを考える 美術館の基本理念を念頭において評価システムの協議・検討	
	2月26日	村田眞宏 日比野克彦 山出淳也	【テーマ】次年度の目標設定と評価 評価の対象について、目標設定と評価及びスケジュールについて協議・検討	
来館者ニーズ調査・対応	来館者、電話、メールの問い合わせ等対応			
	アンケート実施・集計・回答等		522件	
	ナイストライ（職場体験）受け入れ		東野中学校2年生2人（2日間：7月11日-12日）	
			白川中学校2年生3人（2日間：9月26日-27日）	
インターンシップ受け入れ		第一高等学院1人（1月24日-25日）		

内 容 (つづき)		
施設管理	ホームギャラリー管理・運営	開架書籍の整理
		問い合わせへの対応（レファレンス）
	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営	子育てひろばの運営協力
	花壇（正面玄関外）の管理、苗の植え替え	県立熊本支援学校の生徒による花壇の苗の植え替え作業への協力（2回：6月8日、11月22日）
	施設貸出（予約・設備準備・支払等） ※収益事業再掲	会議研修室（502件）
		アートロフト（267件）
	施設・設備の管理、点検、修繕等	セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等設備修繕（11件）
美術館スタッフによるミュージアムIPM	<ul style="list-style-type: none"> ・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング ・毎月の収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング（掃除機、ドライワイパー使用） ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室（G I、G II）の展示期間中のデジタルロガー計測 	

イ 美術館にもっと来たくなる交流・サービス口 口

1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付 熊本地震記録誌「地震のあとで - 美術館を、美術館として開ける。」の電子化（HP掲載）
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
			維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 美術文化振興財団 http://www.kcac-pf.jp
		twitter、facebook等	美術館のできごとをリアルタイムで発信・掲載
	提供	メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791（週1回レギュラー）
市政だより、市facebook等		記事提供	

2 市民主体の交流・サービス（たまり場機能）

（1）ボランティア活動等（日常）

種 類	活 動 内 容	人 数（内訳）	合計人数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	(42人)	214人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	(17人)	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	(17人)	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	(42人)	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	(55人)	
よみがたり	絵本などのよみがたり	(19人)	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	(22人)	

（2）ボランティア研修等

研 修 等	活 動 内 容	開 催 日	参加人数
総会①	CAMKEES総会（活動内容について）	6月16日	20人
研修	新規登録ボランティア研修①	10月14日	8人
研修	新規登録ボランティア研修②	10月18日	8人
研修旅行	CAMKEES研修旅行（佐賀）見学	11月6日	12人
総会②	CAMKEES総会（年度後半の活動内容について）	12月20日	26人
新年会	CAMKEES新年会	1月17日	58人
合 計			132人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	51回/年（毎週月曜日）	4,831人
合 計				4,831人

(2) 音楽・朗読イベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	231回/年（毎日）	3,300人
	「くまもと大邦楽祭2018」 プレイベント ～春のハーモニー～	6月3日に市民会館で行われる「くまもと大邦楽祭2018」のプレイベントとして開催。箏による演奏会	4月15日	80人
	CAMK×HardcoreAmbience ライブ	音楽家ナカコーと福岡のサウンドアーティストduennによるサウンドライブ	12月21日	40人
詩の朗読会	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会 (飛び入り参加も可)	第171回（テーマ：カーテン）	4月26日	12人
		第172回（テーマ：渚）	5月20日	12人
		第173回（テーマ：劇場）	6月28日	10人
		第174回（テーマ：私の色・あなたの色）	7月26日	11人
		第175回（テーマ：金魚）	8月23日	10人
		第176回（テーマ：上海）	9月15日	12人
		第177回（テーマ：世界）	10月25日	12人
		第178回（テーマ：龍）	11月22日	11人
		第179回（テーマ：誕生）	12月21日	13人
		第180回（テーマ：火と土）	1月24日	12人
		第181回（テーマ：歳月）	2月28日	11人
第182回（テーマ：猪（亥））	3月28日	10人		
合 計				3,556人

(3) お楽しみイベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
お楽しみイベント	新春福引き		1月4日	475人
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など	第103回 (テーマ：たのしいおでかけ)	4月21日	18人
		第104回 (テーマ：風とはしろう)	5月19日	28人
		第105回 (テーマ：ことばであそぼう)	6月16日	17人
		第106回 (テーマ：おばけがくるぞ)	7月21日	26人
		第107回 (テーマ：夏はまだまだ)	8月18日	20人
		第108回 (テーマ：ぐらんぱ・ぐらんま)	9月15日	26人
		第109回 (テーマ：ハロウィンがやってきた)	10月20日	14人
		第110回 (テーマ：おいしいね)	11月17日	13人
		第111回 (テーマ：クリスマス)	12月22日	14人
		第112回 (テーマ：日本のおはなし)	1月19日	17人
		第113回 (テーマ：あったまろう)	2月16日	11人
		第114回 (テーマ：そろそろ春が)	3月16日	12人
		子育てひろば ワークショップ	親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ
親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ		5月24日	36人
親子でリフレッシュヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ		6月22日	26人
おはなし会を親子あそび	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり		7月19日	27人
親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ		8月23日	18人
親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ		9月20日	34人
親子で楽しむアート	色紙や絵の具をつかって、子どもの想像力を生むワークショップ		10月18日	28人
英語で遊ぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ		11月19日	27人
親子で楽しむ フラワーアレンジメント	親子で協力してフラワーアレンジメントに挑戦するワークショップ		12月20日	15人
親子で楽しむアート	会場に広げた大きな紙に、好きな色・好きな大きさを自由に書くワークショップ		2月21日	28人
英語であそぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ		3月18日	20人
親子ふれあいあそび	親子で体を動かし、ふれあいながら楽しむワークショップ		3月22日	31人
			合 計	1,008人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【平成30年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第29回熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会。出品点数294点	4/1-4/15（13日間）	4,210人
渚・暎・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉	演劇作家・岡田利規（チェルフィッチュ主宰）が境界のありようをテーマにつくる〈映像演劇〉によって構成される演劇公演／展覧会。今回の新作では、ふたつの異なるものや領域、タイプのあいだにある境界の問題を扱った。	4/28-6/17（45日間）	4,236人
蜷川実花展－虚構と現実の間に－	写真家・映画監督の蜷川実花の個展。代表作から最新作までを出品した会場内を9つのテーマで構成。インスタレーションや映像で、蜷川の作品世界を全身で体感出来る展示空間を演出した。出品点数464点。	6/30-9/9（62日間）	41,508人
魔都の鼓動 上海現代アートシーンのダイナミズム	急激な発展を遂げる上海の現代アートシーンを紹介する展覧会。巨匠から新世代の若手まで、国内初紹介となる作家も含めた計13組が出展。刺激に満ちた作品の数々を通して隣国のシーンの熱気を伝えた。	9/22-11/25（55日間）	11,682人
バブルラップ：「もの派」があって、その後のアートムーブメントはいきなり「スーパーフラット」になっちゃうのだが、その間、つまりバブルの頃って、まだネーミングされてなくて、其処を「バブルラップ」って呼称するといろいろしっくりくると思います。特に陶芸の世界も合体するとわかりやすいので、その辺を村上隆のコレクションを展示したりして考察します。	アーティスト・村上隆が自身のコレクションを基に企画した展覧会。1980～90年代のバブル経済期を中心とするアートムーブメントに対して、「バブルラップ」という新たな呼称を創出し、本展にて紹介した。バブル期後の現代陶芸なども合わせて展示し、大きく、戦後の日本の現代美術を捉えなおそうとする試み。	12/15-3/3（63日間）	11,447人
第30回熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会。出品点数309点	3/20-3/31（11日間）	4,368人
合計			77,451人

※ 第29・30回熊本市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手直通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
熊本地震復興支援特別企画 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展	熊本地震から2年目を迎えようとする節目に、「丸沼芸術の森」から文化的復興を目的とした支援を受け開催。アンドリュー・ワイエスの水彩画・素描等からなる「オルソン・ハウス・シリーズ」より40点を抜粋展示。	4/1-5/6 (39日間) (H30. 3月24日-5月6日 : 53日間)	6,067人 (7,491人)
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展〔第二回〕	収蔵作品のコンディションチェック作業を一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。5月9日と5月26日に、展示室において学芸員が被災作品の詳細な状態確認作業を実施。計61点の収蔵作品を展示。	5/9-6/10 (29日間)	2,539人
熊本アートパレード名品展 アートパレード・パレード	市民美術の祭典・熊本アートパレードに長年出品し、受賞多数の14組の作家をピックアップして紹介する展覧会。	6/13-8/12 (53日間)	10,517人
本と人と作品の空間を考える01 ねじれたライブラリールーム	熊本市現代美術館が所蔵する展覧会カタログや作品集とともに、日常の中にある物に少し手を加えた松延総司の作品を展示することで、ささやかな刺激のある読書空間を提案。	8/15-9/17 (40日間)	5,358人
DDプレゼンツ 「中国ITと若者文化のいま - シェアサイクルからネットタレントまで」	「魔都の鼓動」展の関連企画。中国人バーチャルYouTuberのDDをゲストキュレーターに招き、動画や資料を通して中国のネット事情や最新のIT情報、若者文化を紹介。	9/22-11/25 (55日間)	7,399人
PROJECT H いろんなじじょう	九州をベースに活躍するグラフィックデザイナーによるユニット「project H」にゲストデザイナー1組を加えた9組による展示。	11/28-2/11 (61日間)	7,876人
田中栄一展 太古の鼓動	熊本出身の写真家 田中栄一の個展。オーストラリアのフレーザー・アイランドを取材したカラー写真を大型ライトボックスで見せる4点組の新作《砂と記憶 太古の鼓動》などを展示。出品点数3点。	2/14-3/31 (40日間) (H31. 2/14-4/21 : 58日間)	4,231人
合計			43,987人

(2) 井手直通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
熊本地震復興支援特別企画 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展	熊本地震から2年目を迎えようとする節目に、「丸沼芸術の森」から文化的復興を目的とした支援を受け開催。アンドリュー・ワイエスの水彩画・素描等からなる「オルソン・ハウス・シリーズ」より40点を抜粋展示。	4/1-5/6 (39日間) (H30. 3月24日-5月6日 : 53日間)	6,067人 (7,491人)
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展 〔第二回〕	収蔵作品のコンディションチェック作業を一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。5月9日と5月26日に、展示室において学芸員が被災作品の詳細な状態確認作業を実施。計61点の収蔵作品を展示。	5/9-6/10 (29日間)	2,539人
熊本アートパレード名品展 アートパレード・パレード	市民美術の祭典・熊本アートパレードに長年出品し、受賞多数の14組の作家をピックアップして紹介する展覧会。	6/13-8/12 (53日間)	10,517人
夏のコレクション展 —蜷川実花《FLOWER ADDICT》を中心に—	同時期にギャラリーI・IIで開催した「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」に合わせ、館所蔵の蜷川実花の作品《FLOWER ADDICT》4点を紹介。そのほか、ミロヴァン・デスティル・マルコヴィッチ、リュドミラ・ゴルロヴァ、中山ダイスケの作品7点も合わせて展示。	8/15-10/18 (55日間)	8,117人
熊本市現代美術館 生人形コレクション 「昔はアメリカにいました、今は日本で す」展 同時開催：ハワイ日系人の歩み展	《相撲生人形》特別展示とあわせ、近年収蔵した《花嫁生人形》に焦点をあてた小企画展。同時開催の「ハワイ日系人の歩み展」と通覧することで、《花嫁生人形》にまつわる謎と歴史を探る。	10/20-11/25 (32日間)	4,456人
PROJECT H いろんなじじょう	九州をベースに活躍するグラフィックデザイナーによるユニット「project H」にゲストデザイナー1組を加えた9組による展示。	11/28-2/11 (61日間)	7,876人
CAMKコレクション展「小さな物語」	「小さな物語」をテーマに、熊本の市民のエピソードをもとに制作された川内倫子と山本太郎の作品（当館コレクション）の計2点を展示。	2/14-3/31 (40日間) (H31. 2/14-4/21 : 58日間)	4,231人
合 計			43,803人

3 エントランス・階段ギャラリー等における展覧会

(1) エントランス

展覧会名	展覧会内容	期間
熊本城天守閣1/10模型展示	熊本城天守閣の修復工事にともない、天守閣内に設置されていた1/10サイズの熊本城天守閣の木軸模型を館内で展示。	4月1日-3月31日 (308日間)
蛇口のある風景 フォトコンテスト	熊本市上下水道局が主催した「蛇口のある風景フォトコンテスト」の入賞作品を展示	10月3日-10月15日 (12日間)

(2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
全国友の会 幼児生活団<熊本>	幼児生活団<熊本>の活動の中で作られた造形作品等の展示	8/1-9/2 (29日間)
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品	12/15-1/7 (16日間)
熊本大学教育学部による授業成果展示	熊本大学美術教育専攻に通う学生と児童・生徒のコラボレーション授業の成果展。	2/18-3/17 (24日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

(1) 公開制作

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
日比野克彦 公開制作 「DEPARTMENT STREET PAINTING」	パブルラップ	本展出品作家の日比野克彦氏による公開制作。日比野氏は80年代に渋谷PARCOで行われた展覧会でのグランプリ受賞をきっかけにデビューした。本展の内容に則し、熊本PARCOを舞台にライブペイントを行った。	12月16日	100人
合計			1回	100人

(2) 作品上映会

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
チェルフィッチュ再入門 ① 『部屋に流れる時間の旅』	チェルフィッチュの 〈映像演劇〉	出品作家（チェルフィッチュ）による演劇作品の特別上映	5月5日	22人
チェルフィッチュ再入門 ② 『God Bless Baseball』		出品作家（チェルフィッチュ）による演劇作品の特別上映	5月19日	26人
チェルフィッチュ再入門 ③ 『スーパープレミアムソフトWバニラリッチ』		出品作家（チェルフィッチュ）による演劇作品の特別上映	6月2日	33人
チェルフィッチュ再入門 ④ 『地面と床』		出品作家（チェルフィッチュ）による演劇作品の特別上映	6月16日	39人
上海ビエンナーレ速報レポート & 《器世界の騎士》爆音上映会	魔都の鼓動	当館学芸員が第12回上海ビエンナーレのオープニングの様子を報告。その後、同展に出展されているルー・ヤンの《器世界の騎士》を展示会場内で爆音上映	11月18日	15人
合計			5回	135人

(3) パフォーマンス

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
フラダンス	熊本市現代美術館 生人形コレクション展 同時開催：ハワイ 日系人の歩み展	上通のフラスタジオ・ナーレイオホクのメンバーによるフラのパフォーマンス	10月20日	50人
フラダンス	熊本市現代美術館 生人形コレクション展 同時開催：ハワイ 日系人の歩み展	上通のフラスタジオ・ナーレイオホクのメンバーによるフラのパフォーマンス	11月17日	60人
合計			2回	110人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1) レクチャー・カレッジ

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
サマープレミアムナイトツアー 「会場に向かう前の30分、鑑賞のヒントを少々お伝えします」	蜷川実花	富澤治子 (当館学芸員)	アーティストトークで出たキーワードをヒントに作家が影響を受けた作品や思想を紹介	8月10日	37人
「中国現代美術史スーパーダイジェスト」	魔都の鼓動	佐々木玄太郎 (当館学芸員)	1970年代末以来の中国現代美術の歴史をダイジェストで紹介。あわせて「魔都の鼓動」展の作家・作品について説明	11月3日	25人
合計			2回	62人	

(2) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
オープニングトーク 「チェルフィッチュの〈映像演劇〉」	チェルフィッチュの〈映像演劇〉	岡田利規（演劇作家、チェルフィッチュ主宰）、山田晋平（舞台映像デザイナー、映像作家）、長坂常（建築家、スキーマ建築計画代表）	本企画に関わる3名によるトーク	4月28日	74人
アーティスト・トーク	アートパレード・パレード	出品作家	出品作家がそれぞれの作品・活動について紹介するトーク	6月16日	50人
オープニングアーティストトーク 「作品への想いから、仕事の仕方、子育てまで。蛭川実花が、みなさんからの質問にお答えします」	蛭川実花	蛭川実花（出品作家）	参加者より事前に寄せられた22の質問にQ&A方式で回答するトーク	6月30日	160人
アーティストトーク&ワークショップ	ねじれたライブラリールーム	松延総司（出品作家）	出品作家が様々な美術作品を、本に関するキーワードから読み解きながら、自身の制作における方法論や、そのコンセプトについて話すトーク&ワークショップ	8月18日	20人
オープニング・パフォーマンス 「激烈劇場：上海諸島」	魔都の鼓動	ヤオ・モンシー（激烈空間）（出品作家）	アーティストによって運営されるプロジェクト・プラットフォームである激烈空間の創設者が、激烈空間の仕事の方法と、上海の歴史・空間についてのスピーチ・パフォーマンスを実施	9月22日	25人
オープニング・アーティストトーク	魔都の鼓動	ダイ・ジエンヨン、グオ・チャン、ルー・ヤン、ミアオ・イン、シャオ・ロンホァ、ヤオ・モンシー（激烈空間）（出品作家）	出品作家がそれぞれの作品・活動について紹介するトーク	9月22日	25人
アーティスト・トーク	いろんなじじょう	出品作家	出品作家がそれぞれの作品・活動について紹介するトーク	12月2日	50人
オープニング・トーク	バブルラップ	村上隆（本展企画者）	本展を企画した村上隆氏による、企画の意図や展示構成、「バブルラップ」という新たなアートのキーワードについてのトーク	12月15日	150人
アーティスト・トーク	田中栄一	田中栄一（出品作家）	出品作家がフレーザー島との出会いなど、自身の代表作や最新作について語るトーク	2月17日	60人
クロージング連続トークショーVol.1 「80年代から見たバブルラップ」	バブルラップ	村上隆（本展企画者）+鈴木芳雄（編集者/美術ジャーナリスト）	本展の核となっているバブル経済期を中心とするアートの動向について、本展を企画した村上隆氏と美術ジャーナリスト鈴木芳雄氏による対談	3月2日	120人
クロージング連続トークショーVol.2 「古道具坂田の意義、生活工芸との距離」	バブルラップ	村上隆（本展企画者）+菅野康晴（『工芸青花』編集長）	本展の後半部分で取り上げられている、生活工芸と古道具坂田について、本展を企画した村上隆氏と『工芸青花』編集長の菅野康晴氏による対談	3月3日	150人
合 計				11回	884人

(3) 講演会

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
講演会 「上海局面：都市空間、現代美術、観衆」	魔都の鼓動	ワン・イーチュエン（アーティスト、ライター、キュレーター）	上海を拠点に活動するアーティスト／キュレーターが上海の現在のアートシーンについて紹介	10月7日	25人
「ハワイ日系人の歩み展」記念トーク	熊本市現代美術館 生人形コレクション展 同時開催：ハワイ日系人の歩み展	ジョイ・未知子・サクライ（在福岡米国領事館首席領事）	ハワイ日系人の草創の歴史や、ハワイ日系人としてアメリカの行政に影響を与えた人物とその業績などを紹介	11月17日	60人
「バブルラップ」と1980年代アート	バブルラップ	榎木野衣（美術批評家）	美術批評家・榎木野衣氏による、本展の核である1980年代のアートについての講演会	1月26日	90人
審査員講演会	第30回熊本市民美術展 熊本アートパレード	都築響一（編集者、ジャーナリスト、写真家）	都築響一氏自身の活動についての講演	3月21日	78人
合 計				4回	253人

(4) プレママ&ファミリーツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
チェルフィッチュの 〈映像演劇〉	5月12日	坂本顕子（当館学芸員）	妊娠中の女性とその家族、または6才以下の子供と大人の組み合わせで、美術館や展覧会を楽しんでもらうツアー	4人
蜷川実花	7月7日	坂本顕子（当館学芸員）		19人
バブルラップ	1月19日	坂本顕子（当館学芸員）		12人
合 計	3回			35人

(5) ナイトツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数	
チェルフィッチュの 〈映像演劇〉	5月12日	池澤茉莉（当館学芸員）	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々のための閉館後（20時以降）の特別ツアー	8人	
	5月16日	池澤茉莉（当館学芸員）		12人	
蜷川実花	8月2日	富澤治子（当館学芸員）		49人	
	8月4日	富澤治子（当館学芸員）		29人	
魔都の鼓動	11月18日	佐々木玄太郎（当館学芸員）		1人	
	11月22日	佐々木玄太郎（当館学芸員）		9人	
バブルラップ	2月8日	岩崎美千子（当館学芸員）		28人	
	2月9日	岩崎美千子（当館学芸員）		18人	
合 計	8回				154人

(6) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
チェルフィッチュの 〈映像演劇〉	2回/会期中	池澤茉莉（当館学芸員）	[ツアー] 〈映像演劇〉タネあかしツアー 企画・担当学芸員が〈映像演劇〉の不思議な体験の謎を解き明かすツアー	23人
	3回/会期中	ゲスト：①小田崇仁（早稲田大学文化構想学部表象・メディア論系）、嶺浩子（熊本県立劇場）②菅原龍人（古本タケシマ文庫 店主）③石原真弓（熊本の洋服屋 Re:liディレクター）	[アフタートーク] 誰かと観て話すチェルフィッチュの〈映像演劇〉 誰かと一緒に作品を観てみることで〈映像演劇〉について話してみる企画	40人
蜷川実花展	4回/会期中	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー	134人
魔都の鼓動	7回/会期中			100人
パブルラップ	3回/会期中			53人
合計	19回			350人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第29回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会 審査員：山本太郎（ニッポン画家） 出品点数：294点	4/1-4/15（13日間） ※3月31日分は除く	4,210人
第30回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会 審査員：都築響一（編集者、ジャーナリスト、写真家） 出品総数：309点	3/20-3/31（11日間）	4,368人
合計			8,578人

オ 災害復興支援事業

1 災害が発生した際、公1事業の収益を活用し、当財団から被災地の自治体等へ支援や寄付を実施

※平成30年度は寄付を行っていない

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【平成30年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	大竹伸朗
	デザインあ
	東京国立近代美術館所蔵品（彫刻）
	京都服飾文化研究財団の衣装コレクション等
九州又は熊本ゆかりの作家について	田中栄一・浦川大志・名もなき実昌・山下陽光・田中智之・高浜寛ほか
熊本ならではの文化や歴史について	生人形ほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品（井手宣通ほか）についての調査研究
	チェルフィッチュの映像演劇・蜷川実花・上海現代アートシーン・村上隆の出品作品調査

公表方法	実 績		
展覧会、講演、紀要・論文等	次年度以降開催の展覧会及びそれに伴う講演会等		
	熊本市現代美術館2017年度年鑑【アートガマダスVol.17】発行		
ホームページ等（市収蔵作品）	ホームページによる公開	1,512点	
展示公開、貸出、特別利用（市収蔵作品）	熊本市現代美術館における展示公開	43点 ※ 公1-ア-2に詳細を記載	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	合計3点	
		徳久崇	いやしぶた「3号」
		山口輝也	うずくまる女 風景
		ウィンカ・ショーニバレ	Diary of a Victorian Dandy 17:00
	特別利用（熟覧・撮影等）	0点（熟覧）、0点（撮影）	
	作品画像貸出件数	合計21件	
		安本亀八《相撲生人形》	3件
		ウィンカ・ショーニバレ 《Diary of a Victorian Dandy 17:00》	1件
		井手宣通《瞬花開宴》	2件
井手宣通《漁夫と子供》		1件	
井手宣通《野馬追》		1件	
井手宣通《祇園祭》		1件	
井手宣通《自画像》		1件	
田代順七《根子岳》		1件	
田代順七《阿蘇》		1件	
田代順七《阿蘇》		1件	
田代順七《球磨川》		1件	
田代順七《木立》		1件	
田代順七《天草》		1件	
田代順七《阿蘇・根子岳》		1件	
中島千波《一心行の櫻》		1件	
日比野克彦《GRAND PIANO》	1件		
松本寛庸《サグラダファミリア》	1件		
吉山安彦《黒い樹》	1件		
館内での閲覧（図書資料等）	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧		
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供		

公表方法（つづき）	実 績			
館外での発表、寄稿	8月	寄稿：コラム「やって良かった！ミュージアムIPM」	『博物館資料保存論』（放送大学教材）	富澤
	8月	寄稿：コラム「美術館を美術館として開けるということー市民のこころの避難所としてー」	『博物館資料保存論』（放送大学教材）	岩崎
	8月	連載：途切れない創作意欲——熊本市現代美術館「蜷川実花展 虚構と現実の間に」／「アートパレード・パレード」	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	10月	「上海」特集 特別協力	『美術手帖』2018年10月号（美術出版社）	佐々木
	11月4日	トーク「沸騰する上海現代アートシーン」	本のあるところajiroトークイベント	佐々木
	12月17日	発表「浦川大志／名もなき実昌 タッチパネル世代の絵画実験」	中国美術学院 絵画芸術方法論国際シンポジウム	佐々木
	1月	連載：熊本市現代美術館「バブルラップ」展	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	1月10日	山出淳也『BEPPU PROJECT 2005-2018』出版記念トーク	NPO法人 BEPPU PROJECT	坂本
2月	寄稿「第2部・第2章 戦争、ジェノサイド、コンフリクト、テロなどに対する作品」および「第2部・第3章 核兵器と核エネルギーに対する作品」	『ALIA（アジア芸術教育協議体）共通教科書』および『副読本』（京都造形芸術大学文明哲学研究所編、デジタル発行）	富澤	

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等		
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）	1,512点		
	市収蔵作品購入予備調査及び報告	新規作品 5点（購入）・15点（寄贈）		
	作品データ管理・整備	公開作品 1,512件		
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	132冊	207冊
		刊行物	31冊	
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	43冊	
		映像資料	1本	
	図書装備	装備	0冊	49冊
		コーティング	49冊	
図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	一般図書（絵本、漫画等含む）	28,295件	30,590件
		逐次刊行物	270件	
		映像資料（CD等含む）	2,025件	

公益目的事業

公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【平成30年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
チェルフィッチュの〈映像演劇〉	5月20日 (1日2回実施)	〈映像演劇〉を演じてみよう！～スマホでつくる〈映像演劇〉～	山田晋平 (舞台映像デザイナー、映像作家)	スマートフォンを用いた〈映像演劇〉を、台本の作成から演技、上演まで実際に制作・体験	23人
蜷川実花	8月18日	親子で挑戦！フォトフレームづくり	美術館スタッフ	飾りたい写真からイメージを膨らませてフォトフレーム(ベース)を装飾	30人
蜷川実花	8月19日	大人プログラム「セットアップ体験」	今田淳子(現代美術家) 宮井正樹(写真家)	箱の中にミニチュアセットの世界をつくり出し、ライティングにこだわって写真を撮影	11人
魔都の鼓動	10月12日	開館記念日イベント ストリート麻雀大会	ワン・イーチュエン (アーティスト、ライター、キュレーター)	びぶれす広場を会場とした飛び入り歓迎のストリート麻雀大会。開館記念日イベントとして開催	30人
魔都の鼓動	10月13日	ワークショップ「怪獣人間」	シャオ・ロンホァ (出品作家)	日用品を組み合わせてコスチュームを制作し、オリジナルの怪獣に変身。変身後は下通商店街でパレードを実施 (Street Art-Plex Kumamotoのプログラムの一つとして開催)	6人
バブルラップ	1月13日	大谷工作室とみんなの工作室@熊本	大谷工作室(出品作家)	本展の見どころの一つである、陶芸に触れてもらうことを狙いとしたワークショップ。「顔」をテーマに、身近な人や自分の顔を粘土で制作	18人
田中栄一	2月17日	写真ワークショップ	田中栄一(出品作家)	作家のレクチャーを受けたのち館内外で写真を撮影。参加者同士で鑑賞し、講師が作品の講評を実施	9人
合計	8回				127人

(2) 市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
きっかけは「彫刻」。展	2月25日	プレイベント・ワークショップ「作品をキャラクター化する」	富澤治子	崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コースの准教授小川剛先生に協力いただき、コース教員と有志学生とともに、出品予定作品のイラストレーションを作成、本展広報・教育普及に活用する。	8人
合計	1回				8人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

(1) 団体案内

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	2団体	40人
小学校	19団体	334人
中学校	12団体	475人
高校	10団体	218人
短大	-	-
大学	5団体	101人
専門学校	3団体	141人
一般	8団体	106人
合計	59団体	1,415人

(2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内容	参加者数
滋賀県立美術館	5月18日	-	県立美術館リニューアルに伴う相談・視察	3人
宮崎福祉大学	6月22日	-	熊本地震時における文化施設の役割調査	2人
アニメーション映画監督 (S・ロッテンバーグ)	7月5日	市新ホールマネジメント課	美術館・展覧会視察	3人
茨城県議会 (防災環境産業委員会)	7月11日	市文化振興課	熊本地震時における文化施設の役割調査	20人
川口市長	10月18日	市文化振興課	美術館の建設、運営に関する調査・視察	3人
別府市議会	10月19日	-	美術館の運営に関する調査・視察	6人
静岡文化芸術大学	12月16日	-	熊本地震時における文化施設の役割調査	1人
愛知県議会	12月26日	市議会事務局	美術館の建設、運営に関する調査・視察	1人
佐世保市博物館島瀬美術センター	1月23日	-	美術館の立替、運営に関する調査・視察	2人
霧島アートの森	2月20日	-	美術館の運営に関する調査・視察	7人
西日本新聞	3月14日	-	指定管理者制度に関する調査	1人
相模原市文化振興課	3月25日	-	美術館の建設、運営に関する調査・視察	1人
合計	12回			50人

(3) アウトリーチ

種 別	開催日	学校・学級	内 容	参加者数
体現	9月20日	清水小学校(5年生)	サンバダンスワークショップ	90人
邦楽	9月28日	隈庄小学校(全学年)	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	700人
邦楽	10月11日	山東小学校(5・6年生)	邦楽ワークショップ(尺八ほか)	68人
邦楽	10月19日	城西小学校(全学年)	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	713人
邦楽	10月21日	花陵中学校(全学年)	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	452人
クラシック	10月25日	菱形小学校(全学年)	声楽コンサート/ワークショップ	243人
邦楽	11月20日	砂取小学校(全学年)	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	467人
クラシック	11月28日	中島小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	237人
クラシック	12月5日	大江小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	550人
邦楽	12月21日	白坪小学館(全学年)	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	520人
クラシック	2月7日	長嶺中学校(2年生)	弦楽アンサンブルコンサート	287人
合 計	11回			4,327人

2) 美術館をより身近に感じてもらう次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1) アートプログラム

種 別	開催日	対象者	内 容	参加者数
熊本日英協会記念公演	7月6日	熊本日英協会	熊本日英協会創立25周年を記念した講演会	50人
日本工芸会西部支部陶芸・公演	12月4日	日本工芸会西部支部陶芸部 会	日本工芸会西部支部陶芸・酒器とうつわ展“美食 悠々”に伴う特別公演	80人
出張授業	10月30日、11月1日	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業	120人
出張レクチャー	1月18日	熊本大学付属支援学校高等 部	「バブルラップ」展についてのレクチャー	26人
ブラックライトで遊ぼう	10月5日	城東小PTA	PTA主催の親子遊びへのアドバイス、備品貸出	50人
探検ツアーと消しゴムハンコで 遊ぼう	12月7日	託麻北小かがやき学級	公共交通機関を使い美術館に来館する練習と館内体 験	12人
今田淳子WS	1月16日	川尻小学校(1年生)	普段できないダイナミックな絵を描くワークショッ プ	83人
レインボーマンWS	11月25日	熊大附属小(2年生)+PTA	レインボーマンと一緒に学校に虹をかけるワーク ショップ	73人
陶芸ワークショップ	10月21日	鶴の原こども会	陶芸作家、田口和代と一緒にフリーカップを作る ワークショップ	20人
陶芸ワークショップ	2月13日	秋津1町内子ども会	陶芸作家、田口和代と一緒にフリーカップを作る ワークショップ	37人
瀧下作品レプリカ貸出	10月5日	帯山小3年生	瀧下レプリカ作品を使った鑑賞授業指導	100人
合 計	12回			651人

(2) アートバス

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
鑑賞	7月4日	弓削小学校(3年生)	探検ツアーと蜷川展鑑賞	63人
鑑賞	7月5日	西原小学校(3年生)	探検ツアーと蜷川展鑑賞	97人
鑑賞	9月6日	本荘小学校(1-3年生)	探検ツアーと蜷川展鑑賞	29人
観賞	10月5日	菱形小学校(4年生)	探検ツアーと上海展鑑賞	12人
観賞	10月5日	川口小学校(1-2年生)	探検ツアーと上海展鑑賞	24人
鑑賞	1月24日	田底小学校(3年生)	探検ツアーとバブルラップ展鑑賞	21人
合計	6回			246人

(3) その他

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
情報交換	10月12日	市国際課・文化振興課	熊本市の友好都市であるエクサンプロヴァンスの文化担当者との情報交換	9人
合計	1回			9人

イ 地域文化芸術活動支援□□

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
音楽	7月21日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	JAZZ OPEN 2018 中心商店街各所でおこなわれるジャズの祭典。美術館では、ベテラントリオとヴォーカリストの1組が出演	160人
音楽	10月13日		Great Composer Memorial Series フレデリック・ショパン 熊本在住の若手演奏家によるショパンの曲のコンサート	100人
音楽	10月13日		EXTRAVAGANZA 2018 ~Harmonius Passage~ 様々な表現スタイルを同時進行でストリート上に展開するイベント。美術館では3組のアーティストが出演	130人
パフォーマンス	3月10日		大道芸 2019 中心商店街各所でおこなわれる大道芸。美術館では3組が出演	85人
音楽	3月24日	NPO法人オハイエくまもと	オハイエくまもと第10回とおきの音楽祭 障がいのある人もない人も一緒になって音楽を楽しむ、音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す音楽祭	100人
合計	5回			575人

2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
アート・キッス・レター	美術館の活動報告、今後のイベント情報等を掲載 通年で2回(86-87, 88-89号のそれぞれ合併号)発行

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築 (アートでつながる交流・連携) □

1) 行政とともに行政推進・補完のための政策課題の解決

2) 市民とともに行政分野(まちづくり、福祉、教育等)の課題解決

(1) 文化活動支援

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
アーティスト・イン阿蘇	4月6日	熊本県文化企画 世界遺産推進課	世界中から選ばれたアーティストが、7町村に滞在して作品制作をする事業の検討会議、アーティスト審査。
	8月24日		
つながるカフェ	11月27日	市職員有志	熊本市若手職員の有志が、仕事や考え方について、専門家の意見を聴いたりディスカッションしたりする勉強会にパネラーとして参加。
緑化フェア実行委員会女性部会	5月15日	市公園課	2022年春に熊本市で開催予定の緑化フェア開催に向けた女性部会
	6月20日		
	7月9日		
	8月15日		
	10月1日		
	10月18日・19日		
	12月26日		
熊本県立劇場事業評価委員会	2月1日	熊本県立劇場	熊本県立劇場の事業・運営に関する評価委員会への参加・助言 熊本県立劇場が開催する事業の視察・評価
	6月27日		
	7月12日		
	8月23日		
	2月3日		
	3月14日		
県立劇場×現代美術館 相互館長対談	3月22日	熊本県立劇場	熊本県立劇場館長×熊本市現代美術館館長の相互批評・対談に向けた打合せ
	6月27日		
熊本市市民会館運営協議会	6月28日	熊本市市民会館	熊本市市民会館の事業・運営に関する運営協議会への参加・助言
	11月22日		
	3月22日		
全国邦楽コンクール	5月21日	熊本市文化振興課	くまもと大邦楽祭実行委員会への参加(オブザーバー) 全国邦楽コンクール・墓前祭参加
	9月10日		
	2月28日		

(2) ネットワーク構築

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
熊本県立美術館 友の会	—	県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営
美術館連絡協議会	5月10日	読売新聞社 全国公立美術館	理事会
	7月18日		企画委員会
	9月27日		企画委員会
	10月27日		総会
熊本県文化協会 常任理事会 文化懇話会世話人会	5月9日	県内の文化関係団体と 市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等
	5月29日		
	6月6日		
	7月4日		
	8月6日		
	9月12日		
	10月3日		
	11月14日		
	12月5日		
	2月6日		
3月18日			
熊本市人権啓発市民協議会	5月23日	市人権推進総室	市民一人ひとりが人権を理解し、あらゆる差別の解消に向けた協議会への参加
地域文化創造協議会	10月23日	市文化振興課	熊本市内の文化ホール、旧四町の文化協会による熊本市の文化事業に関する協議会
	3月19日		
熊本城周辺文化施設会議	1月31日	県文化課	国際スポーツイベントに向けた、熊本城周辺文化施設の情報共有、多言語化等。
熊本県文化プログラム推進会議	3月14日	県文化企画課	国際スポーツイベントに向けた情報共有、多言語化等。
企画展に関する協力	①3月8日 ②4月30日	熊本県立劇場	「渚・暎・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉」 ①作品試写及び意見交換 ②展覧会鑑賞及び意見交換

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主 催 者	内 容
熊日文学賞審査・贈呈式	7月5日	熊本日日新聞社	第60回熊日文学賞（熊本県内在住者の小説、詩、短歌、俳句、川柳等）の審査・表彰
アーティスト・イン阿蘇招聘 アーティスト審査	8月24日	県文化企画・世界遺産推進課	阿蘇に滞在し作品制作をするために、全世界から応募してきたアーティストの選考
第15回田山淳朗賞 高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄	10月6日	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏を審査員に迎え、九州・沖縄の高校生を対象にしたファッション画コンクールへの協力・講評・表彰等
熊本県高等学校美術展	10月29日 11月4日	熊本県高等学校教育研究会 美術、工芸部会	九州大会や全国大会の選考も兼ねた熊本県内の高校生の美術作品審査・表彰
日本工芸会西部支部陶芸・作品審査	12月4日	日本工芸会西部支部陶芸部会	日本工芸会西部支部陶芸・酒器とうつわ展“美食悠々”に伴う作品審査
熊本県民文芸賞・論文審査	12月4日 12月13日	熊本県文化協会・文化懇話会	熊本県内在住者から応募された小説、詩、短歌、俳句、川柳等から選ぶ、熊本県民文芸賞の審査
美術館連絡協議会・美連協大賞・カタログ大賞審査	12月21日 2月20日	美術館連絡協議会	美連協主催展・加盟館の自主展の中から、企画賞とカタログ賞の審査
合 計	10回		

(4) まちづくり協力

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数
城下町くまもと ゆかた祭	5月18日	中心商店街等連絡協議会	中心商店街の賑わい創出のために実施されている城下町くまもとゆかた祭開催に向けた会議	—
	7月28日-29日		本番 ・ゆかたで来館の方に展覧会半額等サービス ・おばけ屋敷同時開催	3,231人
上通 アートプロジェクト 上通演劇まつり	5月4、5、6日	上通商栄会、劇団きらら	熊本、九州、東京の8組のパフォーマーを一堂に会した、上通アーケードと当館における演劇公演。 4日は前夜祭として『上通の親子』の公演。 5日、6日はアーケード劇場でのパフォーマンスやコント、現美劇場での短劇を開催 ※ 参加者数はげんび劇場のみ	516人
	4月19日	上通商栄会、劇団きらら	上通アートプロジェクト（2018年度）打ち合わせ （4月25日はアーケードにおける記者発表）	—
	4月25日			
4月30日				
「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援事業 くまもと・まち魅力向上プロジェクト まちなか+ONE月間	6月2、3日	くまもと・まち魅力向上協議会・日本財団DIVERSITY IN THE ARTS	栗栖良依氏講演会「福祉と共生社会」、くまもと空中図書館マチュピチュ（6月2日） 日本財団DIVERSITY IN THE ARTSワークショップシリーズVol.3 金井ケイスケパフォーマンス・ワークショップ（6月3日）	100人
	4月27日		事前打ち合わせ	—
	5月2日			
	5月29日			
こどもおもしろおばけ屋敷	7月26日-8月5日	火の国まつり運営委員会・熊本市	火の国まつりの開催にあわせ、街なかの賑わい創出のために実施したおばけ屋敷の準備、運営等に協力	2,582人
アジア代表日本2018 マッチフラッグワークショップ in KUMAMOTO	6月10日	下通繁栄会	ワールドカップに向けて、日本と対戦国の国旗をデザインした旗を作り両国を応援する、日比野克彦のアートプロジェクト	100人
ヘリテージマネージャー講習会	2月9日	熊本県建築士会	ヘリテージマネージャー資格を目指す建築士に対する講義・演習	15人
上通 アートプロジェクト デザインあ+JAGDA	2月11日	上通商栄会他	上通アートプロジェクト（2019年度）打合せ	—
	2月25日			
	3月1日			
合 計				6,544人

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

(1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種 別	開催日	主催・共催者	内 容	参加者数
鯉ヶ浦水曜日郵便局ワークショップ「水曜日の手紙を書く会」、トークセッション「熊本から宮城へー水曜日郵便局のその先」	6月13日	鯉ヶ浦水曜日郵便局	熊本県津奈木の赤崎水曜日郵便局から、宮城県鯉ヶ浦の鯉ヶ浦水曜日郵便局へつながるアートプロジェクトの経緯を震災の記憶を含めながら、振りかえるもの。	80人
熊本城ホール気運醸成イベント2018 津田大介講演会	7月22日	市新ホールマネジメント課	あいちトリエンナーレ2019の芸術監督である津田大介氏を迎えて、「ネット社会の今と、これからのエンターテインメント」について語る講演会、聞き手は音楽プロデューサーで熊本城ホールアンバサダーの今野拓郎氏	100人
文化庁長官表彰受賞記念シンポジウム 「アートがまちと人にできること」	9月9日	市秘書課・文化振興課	熊本市の文化庁長官表彰受賞を記念し、熊本地震を経たその後の復興を考える上で、熊本城や熊本市現代美術館といった文化施設が担う役割や、熊本市の文化における未来について、大西一史熊本市長、桜井武当館館長が、大澤寅雄ニッセイ基礎研究所研究員をモデレーターに迎えて語るもの。	100人
日仏自治体交流会議 エクサンプロヴァンス市との交流事業（経済会議）	10月12日	市国際課	第6回日仏自治体交流会議の開催にあわせた、エクサンプロヴァンス市との交流事業。 エクサンプロヴァンス＝「文化と生活の質」というイメージだけではなく、投資の対象地域としてのエクサ市の紹介。	90人
日仏自治体交流会議 エクサンプロヴァンス市との交流事業（セミナー）	10月12日	市文化振興課	第6回日仏自治体交流会議の開催にあわせた、エクサンプロヴァンス市との交流事業。 セザンヌ研究の専門家による、セザンヌの作品とエクサンプロヴァンスに関する講演会。	80人
合 計	5回			450人